



37回生SSCが、サイエンス・サーベイ・キャンプに行きました

日 時 令和3年8月2日（月）・3日（火）
 参加者 サイエンス・サーベイ・コース（SSC）1年生
 内 容

SSC 1年生が、自然科学探究Ⅰの校外研修であるサイエンス・サーベイ・キャンプに行ってきました。大学の研究室見学、研究機関の世界一高性能な超大型分析機器の見学、また天体観測や企業見学など、普段の授業では体験できない、充実した研修となりました。



オンライン見学会

コロナウィルス感染防止のため、兵庫県立大学理学部の研究室と本校をオンライン結び、見学会を実施しました。



10人×4教室

1年5組～2組の4教室に10人ずつ入り、2つの研究室を見学。熱心にメモを取りながら、話を聴くことができました。



出発式

いよいよ校外へ出かけます。朝から暑い日差しの中でしたが、明るい笑顔で出発式に臨めました。



生徒代表挨拶

生徒代表として、クラス委員長の大野さんが、これから始まる校外の研修への期待を述べるとともに、みんなの士気を高めました。



播磨科学公園都市へ

2つ目の研修場所のある播磨科学公園都市へバスで移動。まずは、光都プラザ前広場の木陰で昼食を取りました。



理化学研究所 放射光科学研究センター

放射光およびSPring-8とSACLAについて、わかりやすい映像による説明を受けました。



大型放射光施設SPring-8

全周1436mの約4分の1を歩いて見学。自転車で移動する研究者に驚きながら、施設の規模の大きさに圧倒されました。



X線自由電子レーザー施設 SACLA

まず、400mの加速器棟の直線加速器で一気に電子を加速します。案内は本校24回卒業生の本城さんです。



SACLAの真空封止型アンジュレータ

全長700mの施設のうち、240mの光源棟の中に、レーザーを作り出す長いアンジュレータがあります。



質問タイム

本校卒業生の本城さんから、エンジニアとして歩いてきてこられた自身の道のりについてもお話しいただき、進路の参考になりました。



西はりま天文台 なゆた望遠鏡観望会

西はりま天文台の宿泊施設にて夕食・入浴後、世界一の公開望遠鏡であるなゆた望遠鏡による観望会に参加しました。



なゆた望遠鏡観望会 順路

一般の宿泊客も含めて60名を超える参加者が順序良く観望できるよう、なゆた望遠鏡による観望とテラスでの星空観望を、回りながら繰り返します。



西はりま天文台での集合写真

翌朝、県内ほとんど雨模様にもかかわらず、2つの新(白)旧(茶)の天文台を背景に、集合写真をとることができました。



パナソニック エコテクノロジーセンター

中国自動車道を利用してバスで加東市にあるパナソニック エコテクノロジーセンターへ移動。最後の研修開始です。



施設の概要説明

リサイクル法制定の歴史から、当施設の概要まで、わかりやすい説明を受けました。



液晶テレビの分解

身近な液晶テレビの中は、複雑にいろいろな部品が組み合わさっており、リサイクルのための分解には手がかかりそうです。



破碎処理後の分別

破碎処理後の家電に含まれる数種類の金属やプラスチックを分別するのに、工夫された機械が使用されていることがわかりました。



人の手による分解作業

持ち込まれる家電は同じ家電でも1つのメーカーのものに限らず、また何種類もあるため、自動ロボットによる分解作業はできないそうです。



播磨中央公園

朝、警報が出るほど降っていた雨も止み、公園内のベンチを利用して昼食をとることができました。あとは帰るだけです。



解散式

昨日の出発式から、あっという間の解散式。でも、昨夜の満天の星空の光景は、そう簡単に忘れることはないでしょう。



生徒代表挨拶

最後の締めは、副委員長の清水君。今回の研修がこれからの5組のみんなの成長につながることを期待できる挨拶でした。